

お金の知識を あなたの力に

ファイナンシャル・ウェルビーイング・マネジメント・
カンファレンス2025

企業における金融経済教育の 推進に向けて

2025年1月16日

金融経済教育推進機構 (J-FLEC)

理事長 安藤 聡

J-FLEC

金融経済教育推進機構



あんどう さとし
理事長 安藤 聡



生年月日:1955年1月27日(69歳)
 出身:東京都

<略歴>

- ◆ 1977年慶應義塾大学法学部卒業、(株)東京銀行(現(株)三菱UFJ銀行)入行、本店営業部・ニューヨーク・大阪支店・人事・日本国債トレーディング・外国債券ポートフォリオ運用・法人営業企画・合併委員会小委員会事務局・検査企画・資産運用企画(副部長)・ジャカルタ支店(支店長)を経て、2007年(株)三菱東京UFJ銀行退職。
- ◆ 2007年オムロン(株)入社、常勤監査役、2011年執行役員経営IR室長、2015年執行役員常務グローバルIR・コーポレートコミュニケーション本部長、2017年6月取締役役に就任、社長指名諮問委員会、人事諮問委員会、報酬諮問委員会 各副委員長、2023年6月オムロン(株)退社。

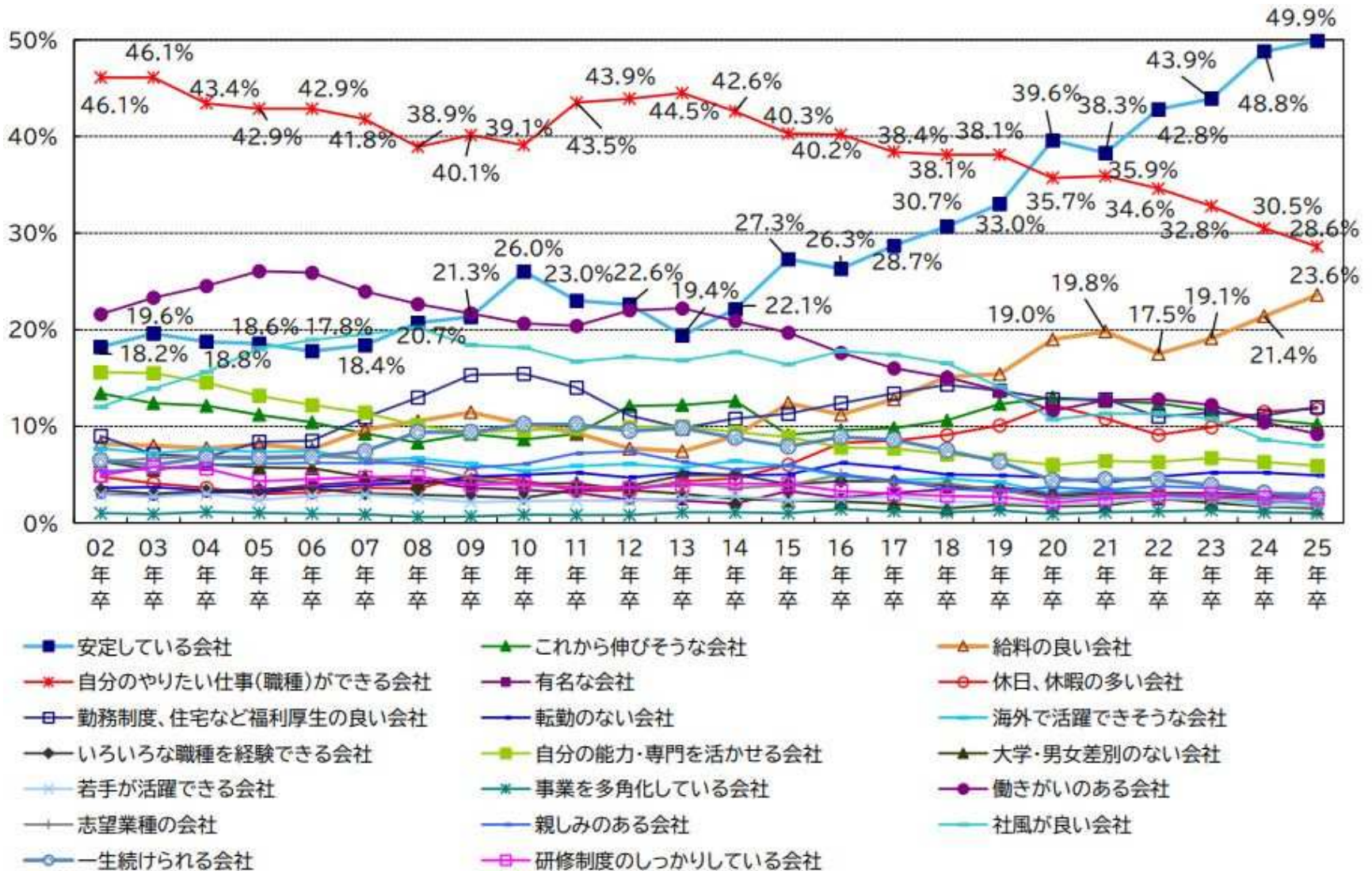
<主な公的活動>

(過去)

- | | |
|------------|--|
| 2014年 | 経済産業省主催研究会「伊藤レポート」委員、2017年「伊藤レポート2.0」委員、「価値協創ガイダンス」策定ワーキンググループに参画。 |
| 2014～2017年 | 国際統合報告評議会(IIRC)主催実務者協議会に参加。 |
| 2016～2019年 | GPIF主催「企業・アセットオーナーフォーラム」企業側代表幹事を務める。 |
| 2017～2023年 | (公財)国際高等研究所評議員を務める。 |
| 2022～2023年 | 内閣府主催「知財投資・活用戦略の有効な開示及びガバナンス検討会」委員を務める。 |
| 2022～2024年 | 東京証券取引所主催「市場区分見直しに関するフォローアップ会議」メンバーを務める。 |

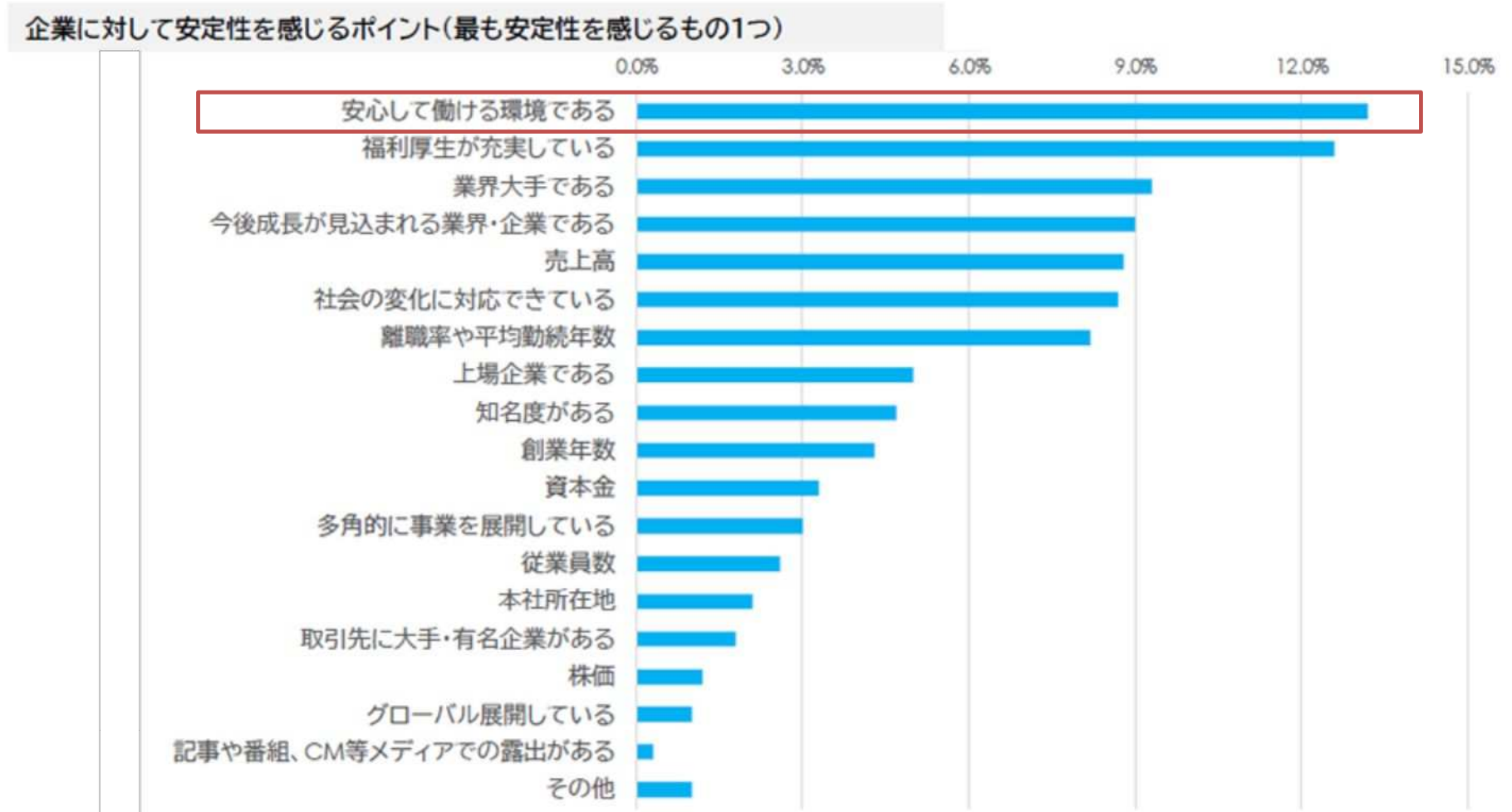
1. 今、なぜ従業員向けの金融経済教育
が必要なのか。

□ Z世代(1990年代後半~2010年頃に生まれた世代)と呼ばれる学生は、「安定」を求める傾向に。



(出所)マイナビ2025年卒大学生就職意識調査(2024年4月)

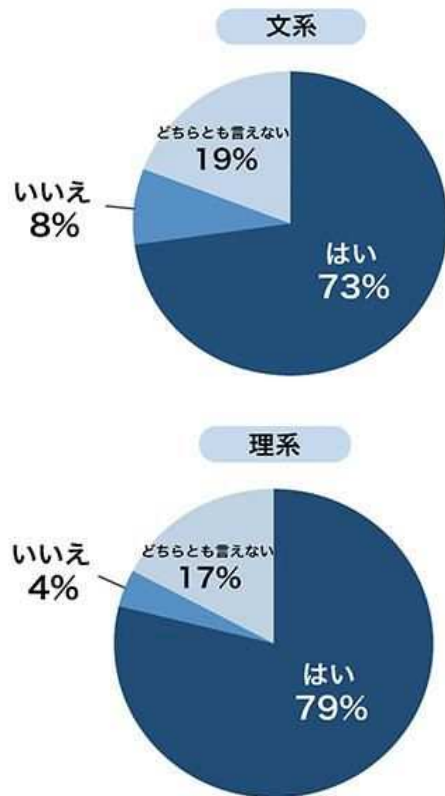
- Z世代と呼ばれる学生が、企業に安定性を感じるポイントとしては、「安心して働ける環境である」を挙げる意見が多い。



(出所)マイナビ2023年卒大學生活動実態調査(3月)

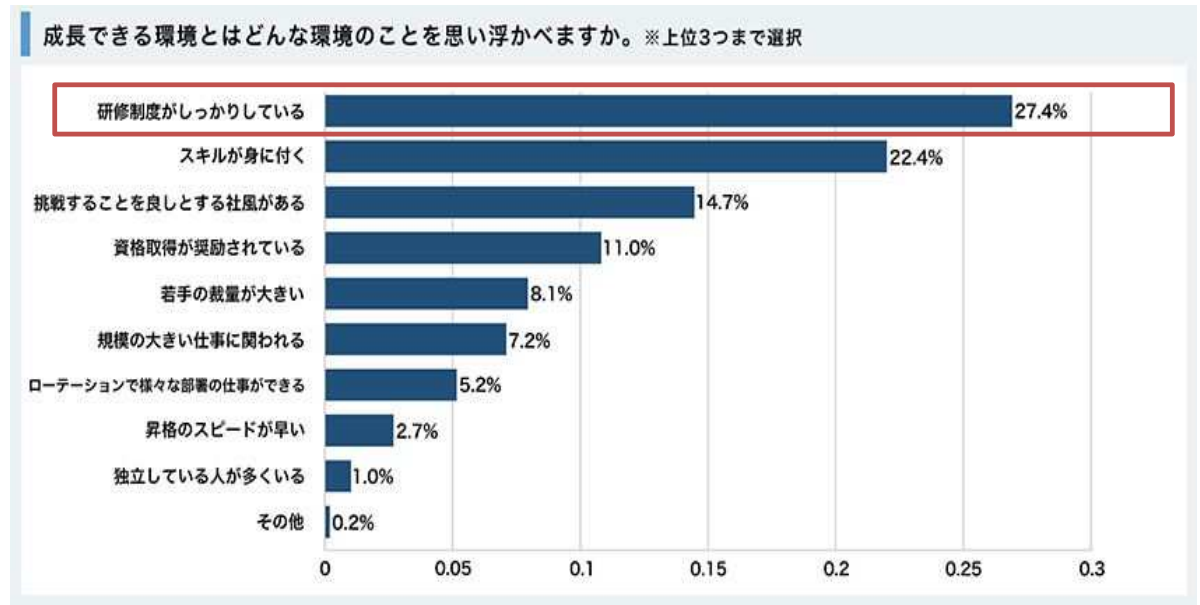
- Z世代と呼ばれる学生にとって、働くことの安心感を高めてくれるものは、「社風とのマッチング」や「福利厚生制度の充実」のほか、「成長環境」があるとの指摘。
- 会社が用意する研修制度への注目は高い。

<企業選択において自身が成長できる環境 課どうかを重視していますか。>



<成長できる環境とはどんな環境のことを思い浮かべますか。>

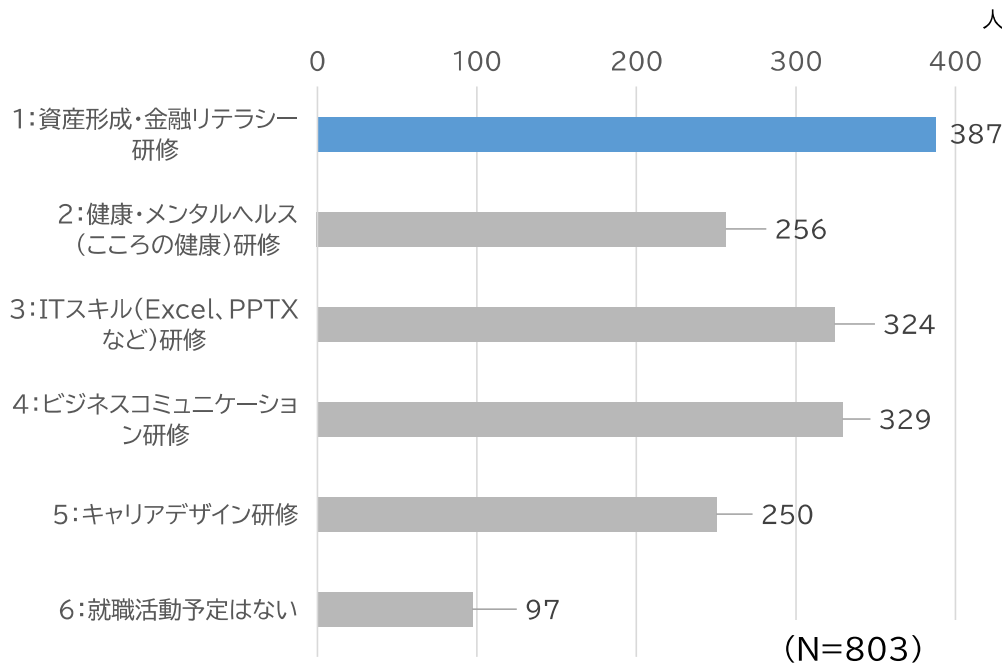
※ 上位3つまで選択



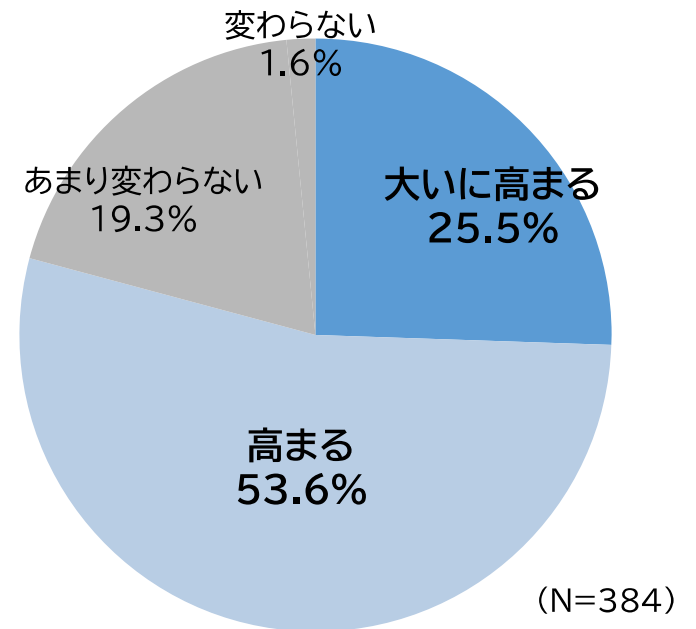
(出所)HUMAN CAPITALサポネットpowered by マイナビ「2023年卒学生に調査！企業選びの本音に迫る。学生にとっての「安心・安定」「成長環境」とは？」

- Z世代と呼ばれる学生が企業や職場を選ぶ際に用意してくれたら良いと思う研修としては、「資産形成・金融リテラシー研修」への関心度が高く、それを企業が積極的に導入している場合には、学生の志望度が高まることが見込まれる。
- 企業による従業員向け「資産形成・金融リテラシー研修」の実施など、職域教育の積極的展開は、従業員の新規採用やリテンションの強化に寄与し得るものと考えられる。

企業や職場を選ぶ際、用意してくれたら良いと思う研修は次のうち何ですか(複数回答可)



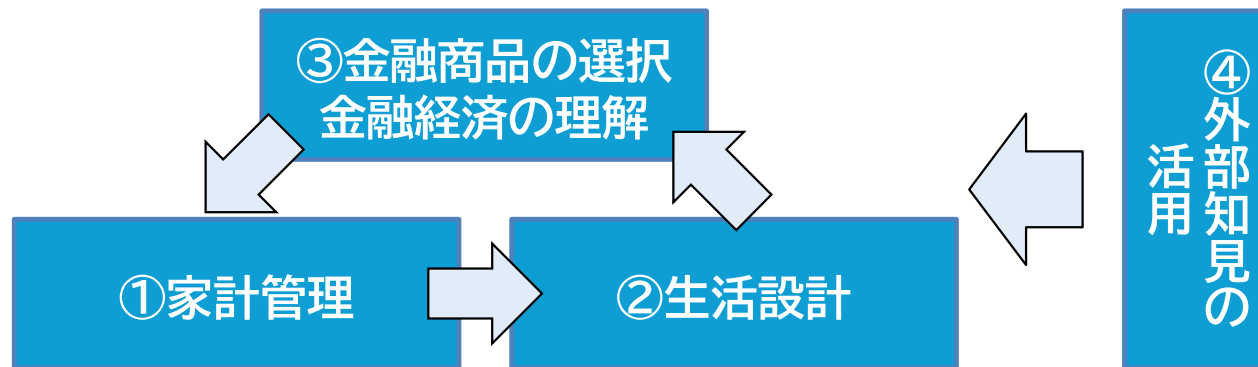
「資産形成や金融リテラシー研修」について、企業が、こうした研修を積極的に導入している場合、あなたの志望度合いはどの程度変わりますか



(出所)2023年11月~12月に金融庁が行った大学生向け授業でのアンケート結果及び2023年9月~2024年2月に金融経済教育推進会議が行った大学連携講座でのアンケートより金融庁作成

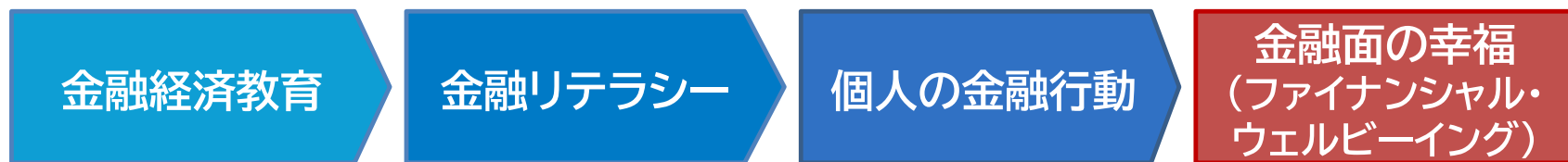
- 国民一人ひとりが、経済的に自立し、安心かつ豊かな生活を送るためには、家計管理や生活設計といった基本的な金融知識に加え、それぞれのライフプランに合った金融商品・サービスをより適切に選択し、安定的な資産形成を行う必要性を理解するなど、**金融リテラシー(注)**を向上させていくことが重要。

(注)金融リテラシーとは、経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な「お金に関する知識や判断力」のこと。



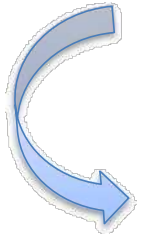
- 金融経済教育を通じて金融リテラシーを高めることは、一人ひとりが描く**ファイナンシャル・ウェルビーイング(注)**の向上に繋がる。

(注)自らの経済状況を管理し、必要な選択をすることによって、現在及び将来にわたって、経済的な観点から一人ひとりが多様な幸せを実現し、安心感を得られている状態。



2. 官民一体の金融経済教育の推進体制とは。

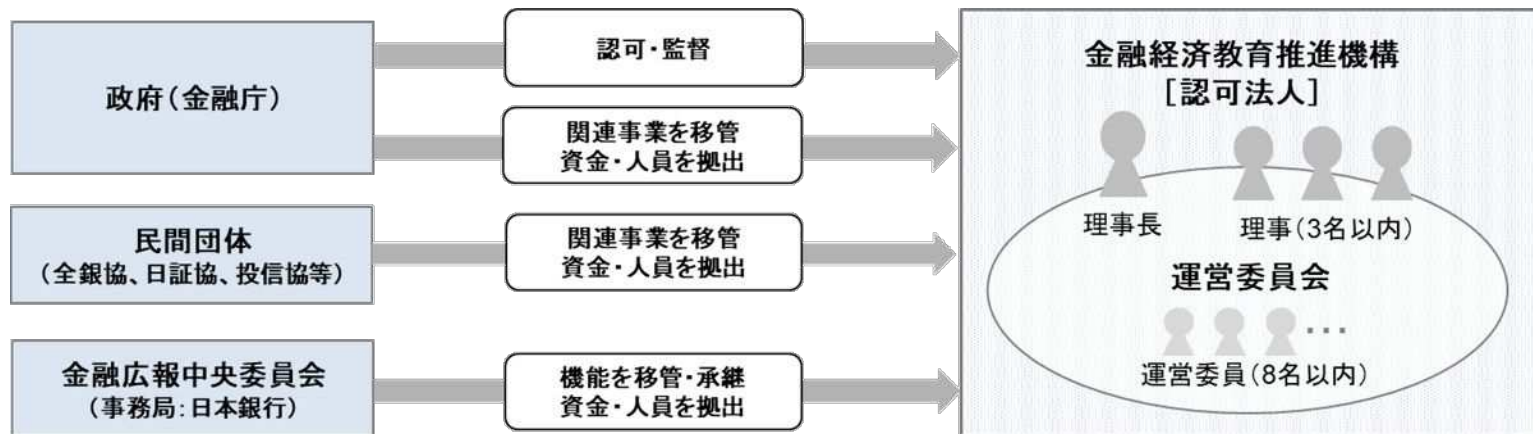
- これまで、政府、金融広報中央委員会、金融関係団体は、学校や職場等において、金融経済教育を実施。
- 但し、課題も存在。
 - 金融経済教育を受けたと認識している人は約7%。
 - 投資詐欺などの被害事案も引き続き散見。
 - 教育の担い手が金融機関・業界団体である場合、受け手（特に、個別企業）から敬遠。



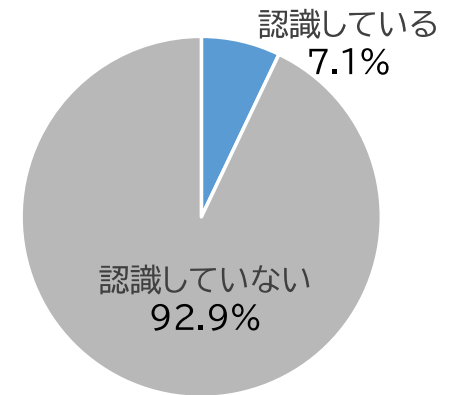
中立公正な教育を、官民一体で国全体に推進する必要。



金融経済教育推進機構の設立(2024年4月5日)



金融経済教育を受けたと認識



(出所)金融広報中央委員会「金融リテラシー調査(2022年)」より。

名称

金融経済教育推進機構

(英)J-FLEC: Japan Financial Literacy and Education Corporation

設立

2024年4月5日

資本金

10 億 5,729 万 6 千円

政府	:10 億 729 万 6 千円	(5,000 万円)
日本銀行	:2,500 万円	(2,500 万円)
全国銀行協会	:1,250 万円	(1,250 万円)
日本証券業協会	:1,250 万円	(1,250 万円)

(注) ()内は、政府による設立にかかる初期費用を除くベース

職員数

約70名

ウェブサイト

<https://www.j-flec.go.jp/>



J-FLEC公式Xアカウント

https://x.com/J_FLEC?s=09



根拠法

金融サービスの提供及び利用環境の整備等に関する法律
(2024年2月1日施行)

目的

適切な金融サービスの利用等に資する金融又は経済に関する知識を習得し、これを活用する能力の育成を図るための教授及び指導(金融経済教育)を推進すること。

所在地

室町古河三井ビルディング (コレド室町2)
東京都中央区日本橋室町2-3-1 9F



ミッション

私たちは、一人ひとりが描くファイナンシャル・ウェルビーイングを実現し、自立的で持続可能な生活を送ることのできる社会づくりに貢献します。

ビジョン

私たちは、金融リテラシーの向上を図るプラットフォームとして、時代の移り変わりと個人の多様性に即した金融経済教育を提供し、いまと未来の暮らしをより良くする金融サービスの活用や資産の形成と活用を支援します。



- ◆ 金融は国民にとって必ずしも親しいイメージを持たれているわけではない点を踏まえ、キャラクター性のあるロゴマークを採用。
- ◆ 子供から大人まで全員に対して優しく、ポジティブな印象を与えるコミュニケーションデザインとしてシンプルな造形ながら刻印が笑顔になっている様を表現。
- ◆ また、数字や記号など幅広いバリエーションで制作可能なため、一貫した優しく、親しみやすいイメージをつくりあげられる汎用性の高いデザインとなっている。

ステップ 1 講師派遣(出張授業)、イベント・セミナー
J-FLEC
 (J-FLEC講師他)

1

金融経済教育の機会を提供し、ライフプラン・家計管理・資産形成などの重要性について理解していただく。

ステップ 2 「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験
J-FLEC
 (J-FLEC相談員)

2

1時間の無料相談体験を通じて、自分自身が取べき具体的な行動を知っていただく。
 また、お金に関するアドバイスの価値や意義を認識していただく。

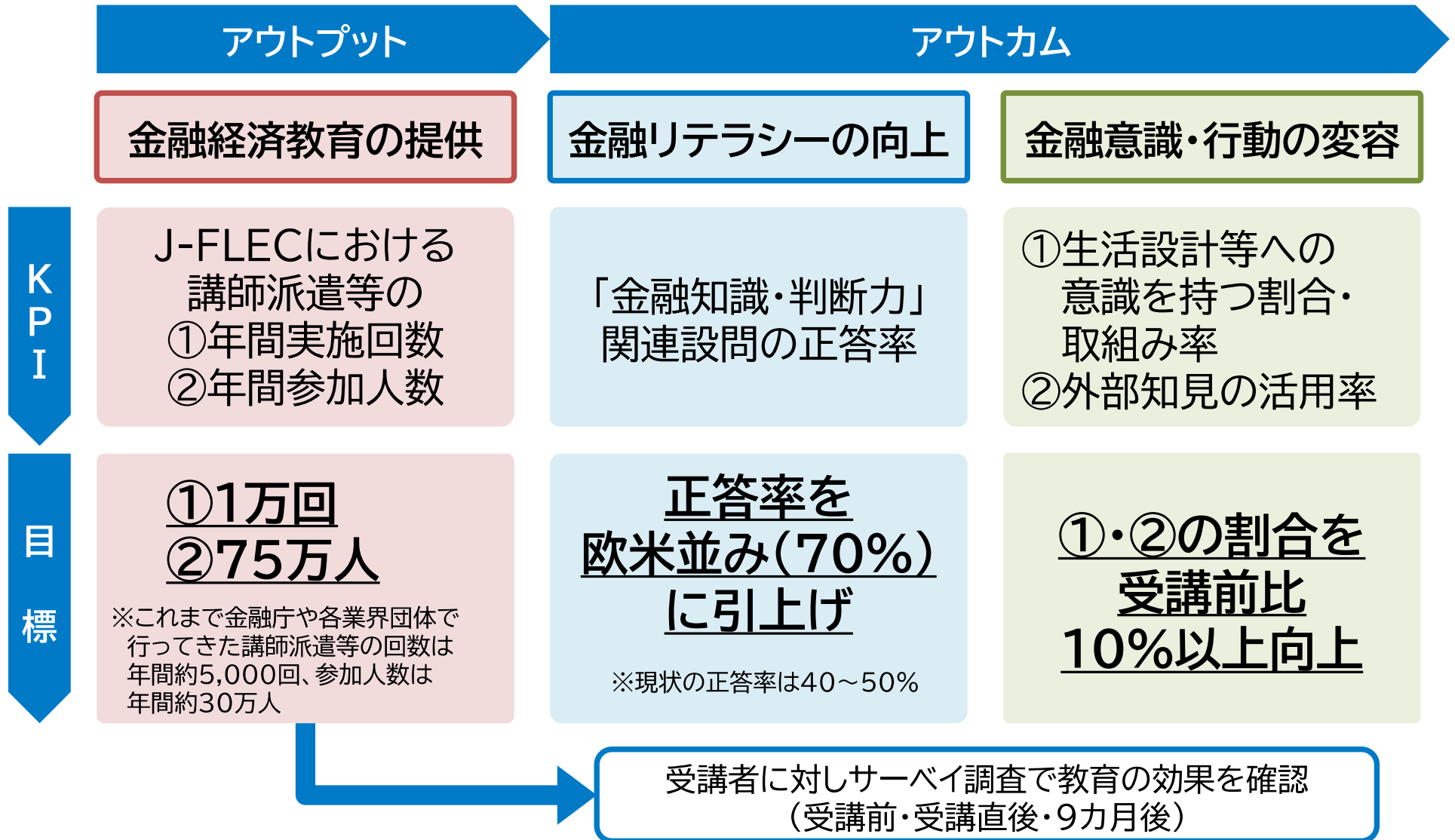
ステップ 3 「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン
クーポン対象事業者
 (J-FLEC認定アドバイザー)

3

相談料の割引クーポンを配布することによって、実際にお金に関するアドバイスを受け
けるきっかけとしていただく。そして、自分自身が取べき具体的な行動についての
理解を深めていただく。

**個人の金融意識・
金融行動の変容**
**一人ひとりが描くファイナンシャル・
ウェルビーイングの実現**

- J-FLECでは、KPI・目標として、金融経済教育の提供(アウトプット)、金融リテラシーの向上、金融意識・行動の変容(アウトカム)を設定しています。



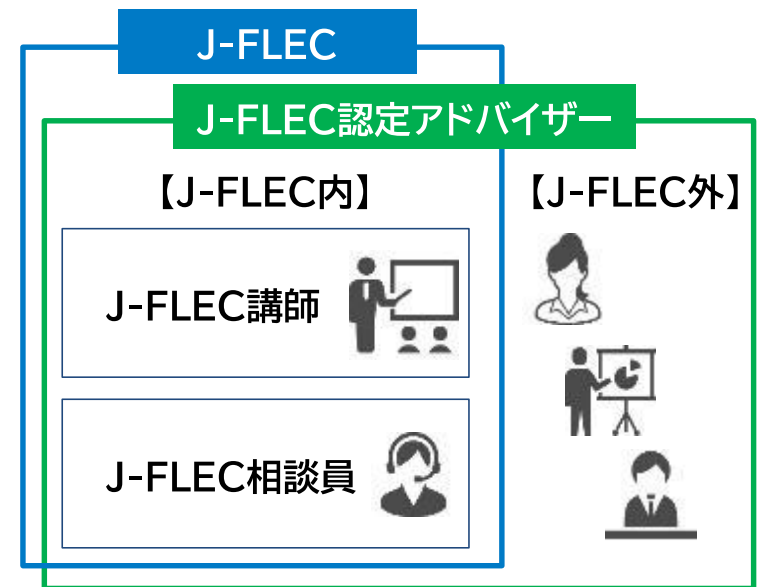
□ J-FLEC認定アドバイザーとは

J-FLECでは、J-FLECが定める認定要件に合致し所定の審査を通過した個人を、一定の中立性を有する顧客の立場に立ったアドバイザー(「J-FLEC認定アドバイザー」)として認定・公表します。

- ◆ J-FLEC認定アドバイザーは、(i)金融商品の組成・販売等を行う金融機関を兼業していない、(ii)上記金融機関から、顧客に対するアドバイスの信頼性等に影響を及ぼしうる報酬を得ていない、といった要件を満たす必要。
- ◆ J-FLEC認定アドバイザーは、家計管理、生活設計、NISA・iDeCo等の資産形成支援制度、金融商品・サービス、消費生活相談等についてアドバイスを行う者を想定。
- ◆ J-FLECは、**J-FLEC認定アドバイザーの氏名のほか、個人がアドバイスを依頼する際に参考となる情報**(保有資格、経歴、得意分野、報酬の目安、自己PR、実際にアドバイスを受けた個人からの評価等)**を公表。**

□ J-FLEC講師・相談員

所定の審査を通過したJ-FLEC認定アドバイザーは、**J-FLECが行う講師派遣(出張授業)の講師、無料相談の相談員業務を行うことが可能**です。



1

講師派遣事業

- ◆ 全国の企業や学校等に、J-FLEC講師を派遣し、金融経済に関する出張授業(無料)を展開。

2

イベント・セミナー事業

- ◆ 全国各地で、社会人の方や事業会社(経営者の方)、教員の方などを対象とした、お金に関する無料イベント・セミナーを開催。

3

「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験事業

- ◆ J-FLEC相談員(J-FLEC認定アドバイザー)による個別相談の無料体験を、J-FLECにおいて、対面またはオンラインで実施。

4

「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン配布事業

- ◆ クーポン対象事業者(J-FLEC認定アドバイザー)による有料の個別相談をはじめて利用する方を対象に、相談料が80%オフ(1時間あたり最大8,000円まで割引)になる電子クーポン(3時間分)を配布。

5

学校等への支援事業

- ◆ 金融経済教育に関する研究活動などに取り組む学校を指定し、教育研究費の助成やアドバイス提供を実施。

- 全国の企業や学校等に、所定の審査を通過したJ-FLEC講師を派遣し、金融経済に関する出張授業(無料)を実施しています。
- 講師派遣では、「金融リテラシー・マップ」に沿って、年齢層別に最低限身に付けるべき金融リテラシー(お金に関する知識・判断力)を習得いただけるような研修・授業を実施します。また、より詳しく学びたい方向けの詳細なコンテンツも提供しています。講義内容や時間については、講義テーマに応じて講師と事前調整することが可能です。

年齢層	学べる主な内容(例)
小学生	「おこづかいから学ぶお金の話」 ・おこづかいの使い方、貯め方、お金の流れ・トラブルの事例など ※ ドリル・ゲーム・クイズなども活用した参加型形式もあり
中学生・高校生	「大人になる前に知っておきたいお金の話」 ・収支管理の基本、お金の貯め方のコツ、資産形成と経済活動の関係性、クレジット・奨学金の仕組みと注意点、金融トラブルの防止など
大学生・若手社会人(10代~20代)	「社会人として知っておきたいお金の話」 ・家計管理や給与明細の見方、資産形成の基本(長期・積立・分散)や支援制度(NISAなど)、社会保険と民間保険、クレジット、奨学金、金融トラブルの防止など
中堅社会人(30代~40代)	「将来に向けて知っておきたいお金の話」 ・家計の現状把握から外部知見(お金の専門家)の活用を通じた将来設計・資産形成の考え方、社会保険と民間保険、各種ローン、金融トラブルの防止など
ベテラン社会人(50代以上)	「リタイア前後に知っておきたいお金の話」 ・定年退職後の生活を見据えた年金などの社会保険、退職金、税金の仕組みのほか、資産寿命の延伸、贈与・相続・終活などの概要



※ 特別支援学校向け、教員向けにも研修・授業を実施します。

※ 講義資料は、J-FLEC以外の教育活動を行っている方々にも参考としていただくため、J-FLECホームページにて公開しています。

- J-FLECホームページにおいて、出張授業において活用する標準講義資料を一般公開しています。
- 以下10種類の対象層別の標準講義資料をPDFで提供しています。

対象層別【一般公開】

対象層別【一般公開】			
学校向け	小学生(低学年)	職域向け	～20代 若手層用
	小学生(中学年)		～40代 中堅層用
	小学生(高学年)		～60代 ベテラン層用
	中学生用	一般向け	高齢者用
	高校生用		
	大学生用		

- ※ 上記に加え、テーマ別コンテンツとして、公的年金・私的年金・iDeCo・NISA・資産運用・投資信託・サステナブル・民間保険(生保・損保)・金融トラブル/消費者教育(学生・社会人)・成年後見制度・贈与/相続・終活等も作成(非公開)。
- ※ 一般の利用者の方が、標準講義資料を参考にすることが可能です。
使用時はJ-FLEC資料からの引用であることの明記、一部抜粋の禁止などの留意事項をご確認ください。

教材はこちらから閲覧・ダウンロードが可能
<https://www.j-flec.go.jp/materials/>



- 全国各地で、社会人の方や事業会社(経営者の方)、教員の方などを対象とした、お金に関する無料イベント・セミナーを開催しています。
- 忙しくて時間がない方、遠隔地にお住まいの方にもご参加いただけるよう、イベント・セミナー会場だけでなく、オンラインによる参加やオンデマンド動画による視聴も可能としています。

【イベント・セミナー例】

対象層	主な内容等
社会人	「社会人として身に付けておきたいお金の話」 ・収支管理・資産形成の基本や利用できる制度(NISA等)、社会保険と民間保険など
事業会社(経営者)	「職域における金融経済教育のメリット」 ・人材確保の観点からの金融経済教育の重要性、企業における取組み事例の紹介など
教員向け	「基礎から知りたいお金の話」 ・先生自身に知っていただきたい、家計管理・資産形成などの基本とポイント 「生徒に伝えたいお金の話」 ・授業でお金について教える際のポイント、授業で使えるJ-FLEC教材の体験など
親子向け	「お金の使い方・貯め方体験プログラム」 「会社の仕組みやお金の流れを学習できるワークショップ」



「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験

- お金に関するアドバイスの価値や意義を知っていただくきっかけとするため、J-FLEC相談員(J-FLEC認定アドバイザー)による個別相談の無料体験を対面またはオンラインで提供しています。
 - ◆ 無料体験は最大1時間で、事前予約制。
(相談テーマ例)
ライフプランの立て方、家計の見直し、教育資金の準備、住宅ローンの借入れ、金融資産の運用、リタイアメントプラン 等
 - ◆ 個別具体的な税金等の計算、個別の金融商品等に関する相談は不可。



「J-FLECはじめてのマネープラン」電話相談

- J-FLEC認定アドバイザーによる「はじめてのマネープラン」無料体験(電話)を実施しています。

概要:

- ✓ 「家計管理」やNISA・iDeCo等の「資産形成支援制度」、「金融商品・サービス」等、金融経済全般に関する一般的な疑問や質問についてJ-FLEC認定アドバイザーが回答する電話相談窓口。
- ※ 個別具体的な税金等の計算、個別の金融商品等に関する相談はできません。

ジェイフレック

電話番号:03-3231-1209

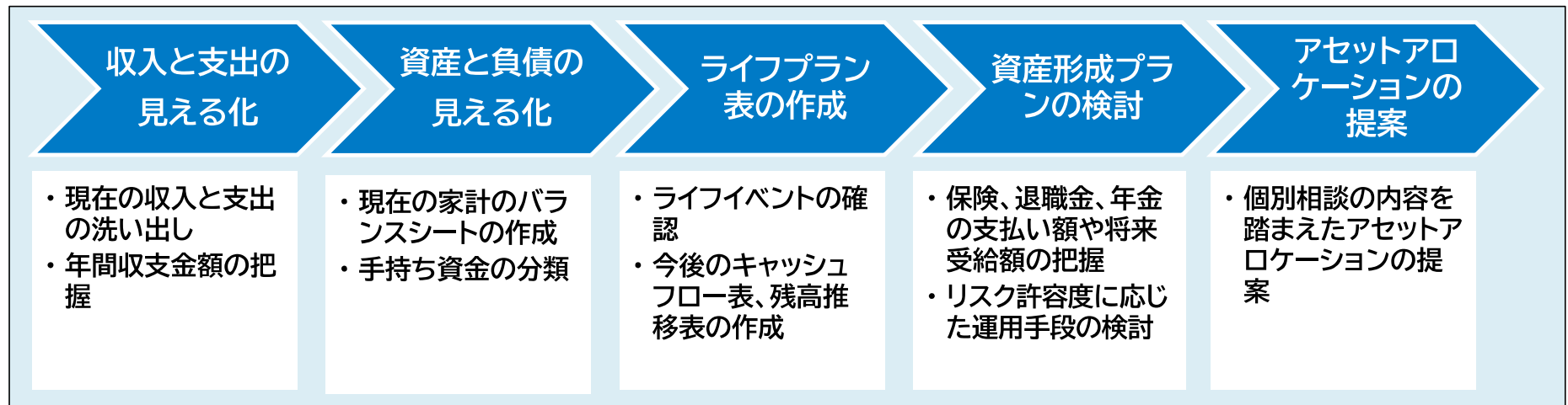
料 金:無料 ※通話料は利用者のご負担となります。

時 間:最大30分

受付時間:10時00分~17時00分(土日祝・年末年始を除く)

- お金に関するアドバイスの価値や意義を知っていただくきっかけとするため、
クーポン対象事業者(J-FLEC認定アドバイザー)による有料の個別相談をはじめて利用する方を対象として、相談料が80%オフ(最大8,000円まで割引)になる電子クーポン(3時間分)を配布しています。
 - ◆ 相談料が1時間10,000円の場合、電子クーポンの利用で自己負担が2,000円になります。
 - ◆ 3時間で収入と支出の見える化からアセットアロケーション(金融資産の種類・配分調整)の提案までの個別相談が可能です。
 - ◆ 電子クーポンの利用対象となる個別相談は、J-FLECが行うアドバイス実践研修を通じて、一定のアドバイス技能を身に付けたJ-FLEC認定アドバイザーが行うものに限定されています。

【3時間分の個別相談の内容(例)】



3. J-FLECが企業や従業員の方のために
できることは。

- ◆ 中立公正な組織として、偏りのない金融経済教育を推進
 - 家計管理・生活設計・資産形成・金融トラブル防止など広く教育

- ◆ 金融機関を兼業していない認定アドバイザーなど、中立公正なJ-FLEC講師が教育の担い手
 - 営業を受けることが苦手な方も、安心して学べる環境

- ◆ 企業にも、学校にも、地域の公民館にも、広く展開
 - 誰一人取り残さない学びの場を提供

- J-FLECウェブサイトで講師派遣の申し込みを受け付け中。タイトルや内容は、企業の個別ニーズに応じてご相談して決定します。

タイトル案	主な対象世代	主な内容※
<ul style="list-style-type: none"> ● セカンドライフへの備え、一緒に考えましょう (ライフプランの必要性和資産運用～) 	50代	<ul style="list-style-type: none"> ✓ セカンドライフの支出と収入、資産形成 (NISA・iDeCo など)・資産寿命の延伸 (取崩しをしながら運用)、セカンドライフの税金、公的保険、贈与・相続、金融トラブル
<ul style="list-style-type: none"> ● リスクを知って、資産形成！今さら聞けない、お金の知識とリスク対策 ● インフレに負けない家計づくり～マネープランの必要性和新NISAの活用方法～ 	30～40代	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ライフプラン、マネープラン、金利・物価、家計管理 (ローン、クレジット)、金融トラブル、資産形成 (NISA、DC・iDeCo)
<ul style="list-style-type: none"> ● 今から取り組めば将来勝ち組?? (ライフプランとマネープラン) ● 学校では教わらなかったお金の話 (社会に出てからすぐに役立つ資産運用の“イロハ”) 	20～30代	<ul style="list-style-type: none"> ✓ マネープラン、ライフプラン、家計管理、長期・積立・分散、NISA (ポイント投資)・iDeCo、生・損保、ローン (奨学金)・クレジット、金融トラブル
<ul style="list-style-type: none"> ● 人生いろいろ、お金の備えもいろいろ 	全世代	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ライフプラン、マネープラン、家計管理、資産形成 (NISA、iDeCo など)、公的保険・民間保険、金融トラブル
<ul style="list-style-type: none"> ● 金融リテラシー向上でお金に関する不安解消！ (特に自営業、フリーランスの方に向けて) 	全世代	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ライフプラン、マネープラン、国民年金 (国民年金基金)、NISA・iDeCo、生・損保、ローン (奨学金)、クレジット、金融トラブル
<ul style="list-style-type: none"> ● 選ばれる職場になるためには (従業員の福利厚生としての資産形成支援策について) 	経営層、人事担当者向け	<ul style="list-style-type: none"> ✓ NISA、企業型DC、iDeCo +、iDeCo、従業員持株会 (奨励金) など。主に中堅・中小企業向けに従業員に対する福利厚生面での支援策

【お申込みのきっかけ】

- 若手社員に「社会人として知っておきたいお金の話」や将来設計、金融トラブル防止のポイントを知ってほしい。
- 定年退職前の社員に「リタイア前後に知っておきたいお金の話」を知ってほしい。
- 金銭不安を理由に離職する従業員がいる中、お金について学ぶ機会を提供することで社員の将来不安を和らげたい。
- 企業型DCや持株会制度、株式報酬制度等の導入・利用にあたり、社員に金融商品の特徴やリスク等を知ってほしい。

【講師からの報告・受講者アンケート】

- 今後の資産運用を具体的に考えようと思っていたため、資産運用に関する基本的な事柄を再確認できてよかった(受講者)。
- 講義後に複数の受講者から投資に関する質問があり、関心の高さを改めて実感した(講師)。
- 理解が曖昧だった制度や今後の制度変更(NISA、iDeCo等)について、理解を深めることができた(受講者)。
- 受講者に若手社員が多く、今後の生活・お金や資産形成について、非常に熱心に受講していた(講師)。
- 勉強するためにも自分でセミナーを申し込む必要がある中、会社で講義を受けることができてよかった(受講者)。
- 制度(NISA、iDeCo等)の知識だけでなく、投資する際の考え方なども理解することができた(受講者)。
- 受講者に定年退職間近の社員が多く、高齢期の生活・お金の関わりに不安と期待が大きそうな表情で、熱心に受講していた(講師)。
- 相続など、老後のことをしっかりと考えるきっかけになった(受講者)。
- 受講をきっかけに計画的な貯蓄を行い、そのための勉強・研究に動こうという気持ちになった。(受講者)

出張授業をご希望の方は、こちらの申込ページまで

The image shows a screenshot of the J-FLEC website. At the top left is the J-FLEC logo. To its right is a navigation menu with the following items: J-FLECについて, 一般の方へ, 教育関係の方へ, 事業者の方へ, J-FLEC認定アドバイザー, and 発表・広報. The main content area features a light blue background with a woman in a white shirt holding a pen. Text on the page includes: "お金の知識をあなたの力に。" (Use your financial knowledge to your advantage.), "たった5問であなたの知識をチェック!" (Check your knowledge in just 5 questions!), and a central graphic with the text "お金の知識力 無料診断" (Financial Knowledge Power Free Diagnosis). A QR code is located on the right side of the screenshot.

- 本資料における記載事項は、本資料の日付時点のものであり、今後変更となる可能性があります。
- 本資料の無断転用・転載・使用を禁じます。